

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ライブハウスコース/ローディーコース レコーディングコース/P A &レコーディングコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 21～24回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 25～28回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 29～32回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 33～36回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る（心理テスト） ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 37～40回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう！
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作についての学習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	social networking service、ネットリテラシー等 ・ イベント開催時におけるSNS利用の効果と注意点 ・ 情報管理(コンプライアンス)について、守秘義務の重要性
【前期】 3～8回目	Microsoft Excel ・ Excelの基本操作 ・ タイムテーブル ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 9～14回目	Microsoft Excel ・ 簡単な計算 ・ 予算書 ・ スケジュール管理
【前期】 15～20回目	Microsoft Word ・ Wordの基本操作 ・ 文字の入力 ・ 応用課題
【後期】 21～24回目	Adobe Illustrator ・ 簡単な名刺の作成方法
【後期】 25～28回目	Adobe Illustrator ・ 地図の作成方法
【後期】 29～32回目	Adobe Illustrator ・ フライヤー制作の方法
【後期】 33～36回目	Adobe Illustrator ・ 簡易的な図面の作成方法
【後期】 37～40回目	Adobe Illustrator ・ デザインの基礎
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽業界基礎講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：22年 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。				
授業概要					
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。 社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。					
到達目標					
秘書検定取得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 21～24回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 25～28回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 29～32回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 33～36回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 37～40回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」。専門知識以外にも知らなくてはいけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう！
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	DAW基礎講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	42回（84単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経歴：32年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
ProToolsを使ったPC上でのMixのノウハウを学ぶ。 「音」を聴覚だけではなく視覚で読取る。					
到達目標					
ProTools上でのエフェクト・EQを含めたMix技法の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	DAWとは？、ProToolsとは ProTools Roomの使い方、ファイルの扱い方、ショートカットキー
【前期】 6～10回目	AG+Vo, Key+Vo, Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Master Fader / Master Level / Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track)
【前期】 11～15回目	AG+Vo, Key+Vo, Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX)。 Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track) / EQ / Filter (INSERT)
【前期】 16～20回目	AG+Vo, Key+Vo, Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Comp (INSERT)
【後期】 21～24回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) バランスのととり方 / Reverb / Delay / EQ / Comp を使ってMIX
【後期】 25～28回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) Reverb(複数) / Delay / EQ / Comp を使ってMIX
【後期】 29～32回目	Dr Kit バランス（全部バラバラ）でのバランスどり(MIX) Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate を使ってMIX / Group / Sub Group / VCA Goup
【後期】 33～36回目	Dr Kit バランス（全部バラバラ）でのバランスどり(MIX) Group / Sub Group / VCA Goup / Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate
【後期】 37～42回目	Dr Kit バランス（全部バラバラ）でのバランスどり(MIX) Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	世界標準機「Pro Tools」多くの技術を習得して下さい。
使用教科書	オリジナルテキスト随時配布（PDF）

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名		サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選		講義		必修	
				年次		1 年次or 2 年次			
授業時間		90分（1単位時間45分）		年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数		5 単位	
科目設置学科コース		≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース（1年次） / ライヴハウスコース（2年次） / 企画制作コース（2年次）							
授業科目要件		実務経験のある教員による授業科目				該当 ☒		非該当 ☐	
担当講師 実務経歴		実務経験：27年 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。							
授業概要									
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。 音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。									
到達目標									
エンジニアとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。									

授業計画・内容		
【前期】 1～5回目	・クラシック（古典派） ・クラシック（ロマン派） ・ラグタイム	弦楽四重奏（Vln、Vla、Vc、Cb） Apf Resonator
【前期】 6～10回目	・ブルース ・ジャズ （ビックバンドジャズ）	Guitar、Harmonica Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker Vib、Ondes Martenot
【前期】 11～15回目	・カントリーミュージック ・R & B（リズム＆ブルース） ・ゴスペル	Banjo、Steel Guitar、Resonator G. Mandolin、Bandoneon、Auto Harp String Bender、Wurlitzer、Clavinet
【前期】 16～20回目	・ロックンロール ・70年代歌謡曲 ・80年代歌謡曲	CP70 DX-7
【後期】 21～24回目	・90年代歌謡曲 ・ロック ・サーフィンロック ・グラムロック	SEQ Mellotron、Moog Theremin
【後期】 25～28回目	・プログレッシブロック ・パンクロック ・ハードロック ・フュージョン	Mashall、Fender Twin、Ampeg Rhodes
【後期】 29～32回目	・ボサノヴァ ・シャンソン ・インディアンミュージック ・レゲエ	Sitar、Electric Sitar
【後期】 33～36回目	・ハワイアンミュージック ・ヘビーメタル ・ジャパニーズ・メタル	Ukulele Twin BD
【後期】 37～40回目	・ヴィジュアル系ロック ・ジャパニーズ・ロック	
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）	
学生へのメッセージ	自分の好きな音楽だけではなく、幅広く音楽ジャンルを知識として学びましょう。 フェイバリットアーティストの影響を受けたアーティストの事を知ることも大切です。	
使用教科書	オリジナルPDFテキスト	

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	図面制作		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
2年次にVector works（CADソフト）を使う前段階として、ステージ図面の見方から始まり、図面作成の為のノウハウをIllustratorを使用して学ぶ。					
到達目標					
ステージのセット図を、Illustratorで描く技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	イラストレーターの基本操作方 ・選択ツール、塗りと線、図形の描き方、直線ツール、色の塗り方、重ね順など。
【前期】 6～10回目	・図形の描き方/アドバンス（サイズ指定、角丸長方形、スターツール） ・整列設定（左右方向の整列と、上下方向の整列）、グループ
【前期】 11～15回目	・整列設定（等間隔）、拡大縮小、回転 ペンツール ・直線 ・曲線
【前期】 16～20回目	・方向線の扱い ・直線⇄曲線 ・ペンツール練習
【後期】 21～24回目	図形の修正と編集 ・図形の修正法 ・素材としての図形
【後期】 25～28回目	図形の修正と編集 ・複雑な修正 ・図形の移動
【後期】 29～32回目	図面の作成 ・簡易版図面 ・図面の読み方 ・図面をデータ化 ・図面にグリッド
【後期】 33～36回目	図面の作成 ・拡大縮小率計算 ・図面作成実習
【後期】 37～40回目	図面の作成 ・テンプレート作成 ・立面図への応用
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	エンターテインメント業界で、必要とさせるパソコンスキル 基礎から学び就職してからすぐに役立つ技術の習得 苦手意識持たずにTRYしていきましょう。
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ステージ音響実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：29年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
本校のホールにてチームに分かれて実際の機材や機構等を確認しながらの実践実習					
到達目標					
PAについての基礎的な内容を習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	PAについて 音の伝達と伝搬、音の三要素 耳の特性と音の特性
【前期】 11～20回目	電気について、電圧と電流、電力と周波数 電源容量とケーブルとコネクタ 用語や法則、電子部品
【前期】 21～30回目	マイクとDIについて 動作原理とフレミングの法則 マイクの種類と指向性、特性
【前期】 31～40回目	接続コネクタとケーブルについて XLRコネクタ、フォーンプラグ、変換プラグと変換ケーブル マルチケーブルとマルチボックスの構造と取り扱い、スピーカーケーブルとSPEAKON
【後期】 41～48回目	ミキサーについて 信号の流れと、インプットからアウトプットまでの処理と基準レベル HPFやイコライザーでの調整、AUXやGROUP、MATRIXへの出力
【後期】 49～56回目	アンプについて プリアンプとパワーアンプ、インピーダンスの関係 dB(デシベル)、GAINと入力感度、S/N比
【後期】 57～64回目	スピーカーについて 基本構造と、動作原理 クロスオーバーとプロセッシング
【後期】 65～72回目	楽器について 音楽の3要素と楽器の分類、オーケストラとアンサンブル、邦楽器と電子楽器 楽譜の見方と楽器の略称
【後期】 73～84回目	舞台用語と舞台図面について 舞台の機構と名称、舞台の道具 舞台図面と、安全管理
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	「実習」では機材に触れて学びますが、「座学」でその機材概要について知っておかないと応用力が伴わなくなります。しっかり勉強しましょう。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目				
担当講師 実務経歴	該当 ☒ 非該当 ☐				
	実務経験：29年 大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍				
授業概要					
本校のホールにてチームに分かれたセットアップ～チェックの反復練習。 小規模編成のミキシング技術の習得。					
到達目標					
結線の仕組みシステムの構築技術の習得、およびオペレーション技術向上					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	StandスピーカーセットとT/Bのレベルをとり StandスピーカーセットでカラオケPA(moniなし)
【前期】 11～20回目	Footを加えたセットアップ 16chマルチケーブルとSRX725(N/W)を用いてセットアップ
【前期】 21～30回目	コンソールをSM20に変えてのセットアップ SM20で4Pバンドの仕込みチェック
【前期】 31～40回目	4P Band の仕込み チェック DAWを使つての疑似ミックス（モニター返す）
【後期】 41～48回目	チャンネルデバイダーを加えてのセットアップ（3way） GEQ(F/B) のインサートを加えてのセットアップ
【後期】 49～56回目	FOHチューニング（3wayのバランス） F/B チューニング
【後期】 57～64回目	ドラムのマイキング ドラムのサウンドチェック
【後期】 65～72回目	Bassのサウンドチェック Gtrのサウンドチェック
【後期】 73～84回目	フルバンドのサウンドチェック～リハーサル～本番ミキシング
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好（スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー） 支給i-Pad・必要工具（LEDライト・テスター・ビニールテープ・マジック類）クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	P A 実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習		必修								
			年次	1 年次										
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	9回 (36単位時間)	年間単位数	2単位									
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース													
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐													
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。													
授業概要														
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。														
到達目標														
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。														

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布